

第2回 教科用図書選定審議会 議事概要

令和5年5月26日(金)

10:00~16:00

岡山県庁3階大会議室

1 経過報告

(1) 第1回選定審議会

(●事務局から経過報告)

- ・採択の観点について

(2) 「選定に必要な資料」

(●事務局から経過報告)

(3) 会の成立

- 事務局：審議会に委員15名のうち14名の出席により本審議会が成立していることについて報告。

2 議事

(1) 「令和6年度使用義務教育諸学校(小学校)の教科用図書(文部科学省の検定を経た教科用図書)研究資料」

国語

(●事務局から資料について説明)

- 委員長：観点の具体にある国際理解や協調について、記載があるのが1社だけであるが、問題はないか。

- 事務局：特に特徴的な部分を記載しているため、1社のみの記載であるが、どの教科書会社においても取り上げられている。

- 委員長：そのことについて、市町村にどのような形で伝えるのか。

- 事務局：紙面の都合上、特徴的な表記について記載していることを伝える。

- 委員：二次元コードなどデジタル資料に関する記載が、他の教科書会社よりも多いものが1社ある。デジタル資料に関する記載が多いのは、特徴であるからか。

- 事務局：二次元コードという記載は1社のみになっているが、他社にも二次元コードはある。

- 委員：もう1社においては、タブレットという表現がある。研究資料だけを見て比較すると、1社だけ遅れているという印象になるのではないか。

- 事務局：最終的には教科書等を見て、選定をする際は研究資料と合わせて実際の教科書を見ながら判断するため、問題ないと考える。

書写

(●事務局から資料について説明)

- 委員：毛筆における、入筆について1社のみ記載されているが、問題ないか。

- 事務局：運筆の初めの部分として、大きく巻頭で取り上げられているため、特徴として記載した。
- 委員：どの教科書会社においても、動画や二次元コードについて同じような文言で示されているが、それぞれの特徴をもっと生かした表現を付け加えてもいいのではないか。
- 委員長：二次元コードの記載という点について、それぞれの会社で力点を変えているところがあるため、修正は特に必要ない。

社会

(●事務局から資料について説明)

- 委員：内容の特徴として、どの教科書会社も学習の進め方が示されていると記載されているが、構成・配列・及び分量等にも学習の進め方について記載がある。違いがあるのか。
- 事務局：内容の特徴における学習の進め方は、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図ることが目的だが、構成・配列及び分量については、それぞれの学年、教科書全体の系統性について示している。
- 委員：どの教科書も、日本と繋がりの深い国として国名がたくさん書かれているが、選定に必要なのか。
- 事務局：特徴として、明確に取り上げられている国が違うということを示している。
- 委員：領土問題、国旗・国歌等についてはどの会社もあまり内容が変わらないが、ほぼ同じと捉えてよいか。
- 事務局：近い内容である。1社のみコラムで、竹島と尖閣諸島について経緯や現状が説明されているというところが、特徴として挙げられる。
- 委員：6年生の学習は歴史が先か、政治が先か。
- 事務局：政治の大単元の位置に政治歴史、さらに国際があるというような形である。1社のみ政治国際編・歴史編となっており、政治と国際編が混ざっている。政治国際編の教科書を使っての学習が終わったら、歴史編の教科書を使って学習し、最後にもう一度、政治国際編に戻るという使い方をする。
- 委員：3年生からSDGsについて書かれているが、5年生が一番わかりやすいため、例を出されていると解釈してよいか。SDGs目標シールが3年生からあるのであれば、全学年にSDGsのシールがあると記載するのがわかりやすいのではないか。
- 事務局：全学年にという表現を入れるよう修正する。
- 委員：タブレット型コンピュータという表現があるが、学習デジタル端末など、違う表現の方がいいのではないか。
- 事務局：修正する。

地図

(●事務局から資料について説明)

○委員長：いずれも3年生から6年生まで、1冊を使用するのか。

●事務局：その通りである。

算数

(●事務局から資料について説明)

○委員：中学校数学と関連があるという記載があるが、全ての教科書で関連があるか。

●事務局：中学校へつながるよう、全ての教科書会社が、発展マーク、問題に取り組んでみましょうというものを設けている。

○委員：プログラミングについてはどうか。

●事務局：全ての教科書会社で取り扱っている。各社ともプログラミング的思考に触れる活動を、設定したり紹介したりしている。

○委員：今回の学習指導要領において各教科の見方・考え方が、重要である。見方・考え方が全ての教科書に入っているか。

●事務局：どの教科書会社も見方・考え方というものを、学年ごとにまとめている。

○委員：発展的な問題として実生活とのつながりなどの表現がなされているか。

●事務局：学習したことを生かし、日常的な問題を解いていくものがある。

○委員：算数では二次元コードという書き方をしているが他の教科において、違う表現をしている箇所がある。

●事務局：二次元コードに統一する。

理科

(●事務局から資料について説明)

○委員：自由研究についての記載は、参考資料の内容の特徴・表現のどれに整理したか。科学分野で活躍した方がどのように研究をしたかということを紹介したものということか。

●事務局：他の教科書会社にも、自由研究についての記述があるが、著名な人を用いてアドバイスを紹介したものは、付録的な扱いということで整理し、記載した。

○委員長：算数の場合は、著名人や様々な職業の人の日常生活と算数とのつながりにおいて、その内容が紹介されている。理科の場合は、科学的な分野で業績を出している方が国内外を問わずに紹介されており、整理して記載するのが、ふさわしいと感じた。

生活

(●事務局から資料について説明)

○委員：外国にルーツを持つ児童の写真やイラストが扱われている記載において、表現にあまり差がない。

- 事務局：各教科書において、外国にルーツを持つ児童が多数掲載されているため、このようになっている。
- 委員：どのように主体的に作文し、歌などが学習に関連づけられるのか。
- 事務局：教科書の中に日本の伝統に関する記載が多くあり、特に作文や詩、歌、例えば、季節の歌や行事に関する歌が掲載されており、大きく取り上げられている。
- 委員：「余白を適切に使ったシンプルな画面構成で読みやすく」とあるが、「読みやすく」は主観的ではないか。
- 事務局：読みやすいという部分に関しては、主観と取られかねない表現であるので、「余白を適切に使ったシンプルな画面構成である。」と修正する。他の主観的と取られかねない表現についても変更する。
- 委員：実生活に繋げるイラストの記載について、観点内容の特徴・表現の整理はどのようになっているか。
- 事務局：自分の思いや願いを生活に生かし、主体的に活動するという観点で整理した。

音楽

(●事務局から資料について説明)

- 委員：リコーダーの運指表が見開きに書かれている。教科書の楽譜を見ながら運指表を見て、子どもたちが演奏することができるというのは大きな特徴ではないか。
- 事務局：リコーダーの運指表については、どちらの教科書も並んだページに運指表が書かれている。
- 委員：共通教材は心の歌として、日本で歌い継がれている楽曲「が」ではないか。
- 委員長：日本のものも外国語のものもあるか。
- 事務局：日本の楽曲のみが心の歌として掲載されている。「心の歌」と「歌い継ごう日本の歌」とし2種類を提示するので、「は」「が」と迷ったが、共通教材は「心の歌」として、日本で歌い継がれている楽曲は、「歌い継ごう日本の歌」として、あえて「は」と記載した。

図画工作

(●事務局から資料について説明)

- 委員：図画工作科の特質に応じた言語活動や情報活用に関する活動は、具体的にはどのようなものか。
- 事務局：言語活動の充実や、様々な情報を活用するということを通して、必須の力を育成するということである。みんなで鑑賞し、それぞれの思いを話したり、様々な情報やある物を使ったりしながら自分の感じ方や考え方を広げていくということが、考えられる。
- 委員：思考ツールだったか、支援ツールだったか。検討してもらえるか。

- 事務局：学習指導要領で出てくる言葉としては思考ツールがあるが、考えるための技法というような表現もある。表現技法の中に、シンキングツールもあるというような位置付けて、考えるための技法という表現でいかがか。
- 委員：生活科のときに思考ツールという言葉が出てくるのが、同じことを指しているのか。
- 事務局：同じであるので、言葉を統一する。

家庭科

(●事務局から資料について説明)

- 委員：学習の流れは3ステップでと書いてあるが、一つ一つを引用の形で書くとかかなり長くなるか。教科書ではどのように表現されているのか。
- 事務局：題材の初めにあり、めあてごとに書き方が違う。階段が書いてあり、3ステップで示してある。
- 委員：具体的に書かれていないので、どの教科書会社も似たようなものに見える。
- 事務局：具体例は記載してないが、題材ごとに3ステップの最後に具体的な問いが設定されている。題材の最初にイラストや写真等で、生徒に身近な場面が設定されている。
- 委員：色々なところに扇形のマークが描かれているが、何を示しているのか。
- 事務局：マークの説明として日本の伝統マークと書かれているので、括弧でそのように書いている。

保健

(●事務局から資料について説明)

- 委員長：自国の伝統文化への理解、あるいはそれを尊重する態度と同時に他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度という観点に対して、つながりはどのようにあるのか。
- 事務局：ユニバーサルデザインを探す活動や、災害に備えた日頃の備えの例がある。
- 委員：観点とどうつながるのか。障害者スポーツの取組や新型コロナウイルス感染症から人々を守る保健活動が取り上げられているかどうか。
- 事務局：学習指導要領の内容であることが前提の上で、ユニバーサルデザインであるとか災害への日ごろの備えというようなものがある。世界の平和や発展に寄与する態度を養うことにつながる、あるいはそこについて取り上げられていたということで、ここに記載がある。世界で取り組むべき内容や感染症に向けて何ができるのか考えることで、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができると記載されている。

- 委員：1時間は見つける、考えてやってみる、まとめる、広げて振り返る、の四つの学習過程で構成されているとあるが、1時間のうちにこれだけのことをするという意味で合っているか。
- 事務局：1時間の学習の流れの目安を示していると考えている。

英語

(●事務局から資料について説明)

- 委員：学習活動がイメージしにくい表現が見られるが、他に表現はないか。
- 事務局：例えばロボットの紹介をするような活動においては、それを紹介するという言語活動が設定されている。後半は具体例で、おすすめの場所を紹介するなどとなっており、文としては成立するのではないかと考えている。
- 委員長：このページの活動には二つの活動が組み込まれている。一つは、自分が考えたオリジナルロボットをクラスメイトに紹介をする。もう一つは、おすすめの場所についての誰かの言葉を参考にし、さらに、表現を加えるというような活動が組み込まれている。
- 委員：単元とユニットとは違うものか。使い分けがあるか。
- 事務局：基本的に同じものである。教科書会社によって、下位項目の扱いが異なっているパターンがあるため、一つのユニットとしているところがある。大単元を組んでその中に細かいユニットレッスンという分け方をしているところもある。

道徳

(●事務局から資料について説明)

- 委員：心情円という表現がある。他の教科書にはこの表現がないが、1社だけか。
- 事務局：1社のみである。教科書の一部になっており、切り取って使える。
- 委員：どの教科書会社のものも、基本的な内容項目で整理されている。文字数の関係などから書き方は違うが、特徴としては大きく違わないのか。
- 事務局：学習指導要領に沿っており、内容項目をどう整理して提示するかということになる。どう整理するかは教科書会社の工夫で、研究資料では工夫している内容を入れ、限られた文章の中で、表現を変えている。

(2) 「令和6年度使用義務教育諸学校の教科用図書（学校教育法附則第9条の規定による教科用図書）研究資料」

(●事務局から資料について説明)

- 委員：1冊目は、音楽の構成・配列の表のところに歌詞、身体表現の例が掲載されているとある。2冊目は、内容の特徴、表現及び程度の中に、身体表現の例のある曲が入っているという表現がある。この本は、身体表現の例が記載されていたか。

- 事務局：曲の全ての部分において、身体表現が掲載されていないため、記載を変えている。
- 委員：1社については、「平易な言葉で表現された文章が」とあるが、それ以外は、ひらがな、分かち書きなど事実で書かれている。何か理由があるか。
- 事務局：表現が他よりも読みやすく簡単な言葉ではあるが、昔使われていた言葉を使用していないかや、子どもたちに分かりやすい表現であるかを調査員で議論をし、このような表現になっている。